

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
東日本航空専門学校	昭和62年10月29日	今別府 和美	〒989-2421 宮城県岩沼市下野郷字菱沼84番地 (電話) 0223-23-3344			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人日本コンピュータ学園	昭和61年10月22日	理事長 持丸寛一郎	〒980-0013 仙台市青葉区花京院一丁目3番1号 (電話) 022-224-6501			
目 的	航空産業界を担う空港グランド要員の専門技術者を養成することを目指し、航空業界に関する先端技術を習得させ、もって社会の発展と福祉に貢献できる人材育成をする。					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
工業	工業専門課程	エアポートビジネス科	2年(昼)	1,950単位時間 (又は単位)	平成6年6月21日 文部大臣告示 第84号	—
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	1480単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	470単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
120人	55人	3人	9人	11人		
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日			成績評価	■成績表 (有)・無) ■成績評価の基準・方法について 全科目100点評価(筆記試験) 5段階評価(実技試験) 定期考査(年4回) 前期(中間考査、期末考査) 後期(中間考査、期末考査)	
長期休み	■学年始め：4月1日 ■夏 季：7月24日～8月23日 ■冬 季：12月24日～1月06日 ■学 年 末：3月31日			卒業・進級条件	年間850単位時間以上の履修単位時間及び学校が定める履修すべき全科目の評点40点以上評価2以上)	
生徒指導	■クラス担任制 (有)・無) ■長期欠席者への指導等の対応 学生サポート室を設置し担任以外も含め組織として学生、保護者との相談体制			課外活動	■課外活動の種類 ■サークル活動(有)・無)	

就職等の状況	<p>■主な就職先、業界等 JALSKY 日本通運（仙台空港：ANA） ANAスカイビルサービス</p> <p>■就職率※¹ 92.0%</p> <p>■卒業者に占める就職者の割合※² % 85.1%</p> <p>■その他（任意） (平成27年度卒業者に関する平成28年4月1日時点の情報)</p>	主な資格・検定	<p>実用英語技能検定 TOEICテスト AXESS実用検定 国内旅程管理主任者旅行地理検定 特殊無線技士</p>
中途退学の現状	<p>■中途退学者 4名 ■中退率 6.7%</p> <p>平成27年4月1日在学者 59名（平成27年4月入学者を含む） 平成28年3月31日在学者 55名（平成28年3月卒業生を含む）</p> <p>■中途退学の主な理由 進路変更（就職）、帰国（留学生）</p> <p>■中退防止のための取組 学生相談室が主体となり、本人・保護者と相談及び直接面談を実施</p>		
ホームページ	URL: http://www.ejair.ac.jp/		

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除いたものとする。
- ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※ 「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

企業・業界団体との意見交換を行うことで、より実践的な職業教育の質の確保に組織的に取り組む。また、業界が新たに必要とする実務に関する知識及び技術や技能を把握・分析した上で、今後の専門課程の授業内容・方法の改善を図る。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成 28 年 4 月 1 日現在

名 前	所 属
水車 慶二	航空技術教務課 課長(委員長)
高橋 忠太	エアポートビジネス科 教員 (副委員長)
工東 信郎	公益社団法人 日本航空技術協会 常任理事 事務局長
宮口 悟	日本通運株式会社 東北総代理支店 次長
今別府 和美	校長兼教務部長
斎藤 めぐみ	エアポートビジネス科 教員
亀岡 敏光	エアポートビジネス科 教員

(開催日時)

第 1 回 平成 27 年 10 月 13 日 13:00~14:00

第 2 回 平成 28 年 2 月 12 日 13:00~14:00

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

航空業界の空港グランド要員として、専門分野の知識のみの習得に留まらず、実習を通じて知識に裏付けされた技術・技能の習得と理解度をより深める。また、発券業務の資格取得を推進し早期に職場の実践力として業界で活躍できる人材を育成する。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
発券業務	日本航空旅行総合システム「AXESS」を使い空席、予約データ、入力、訂正方法を学習し、資格取得を目指す。	株式会社アクセス国際ネットワーク
航空実務実習	知識として習得した航空業務の内容を、実際に空港で活躍しているスタッフの指導で模擬的に体験し理解度を深める。	日本通運株式会社仙台航空支店
一般教養	空港における旅客、貨物取扱業務及び空港業務全般にわたる研修を通じて知識で得られない技術・技能の習得や社会人に求められる人材とは何か等理解する。	株式会社ANAエアサービス福島

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

教員に対する研修の必要性を把握し、業務に必要な知識や専攻分野における指導力等を修得させ、教員の能力及び資質の向上を図る。また、必要と認める時は、他の機関や企業等と連携して又は外部の機関に委託して研修を行う。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成 28 年 4 月 1 日現在

名 前	所 属
菊田 正信	東北管理株式会社 代表取締役
宮口 悟	日本通運株式会社 東北総代理支店 次長
大村 憲克	株式会社ジャムコ 整備工場メンテナンス統括室 室長
石川 洋之	株式会社パンフィック 航空給油事業部 施設課主任 (本校OB)

(学校関係者評価結果の公表方法) ホームページ上に公表

URL : <http://www.ejair.ac.jp/report/hyoka.html>

5. 情報提供

(情報提供の方法) ホームページ上に公表

URL: <http://www.ejair.ac.jp/>

授業科目等の概要 1/2

(工業専門専門課程エアポートビジネス学科) 平成28年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			一般教養	計算力の向上と基礎数学の学習や企業への入社試験で用いられる SPI を基本とした非言語問題の学習を行います。	1通2通	335		○		
○			英語	英語の基礎を確認した上にレベルアップを行い英検資格取得、TOEIC 点数アップを目指します。	1通2通	360		○		
○			英会話	ネイティブの先生による実践的な日常会話を中心に話す、聞くスキルアップを図ります。	1通2通	130			○	
○			航空業務知識	航空業界の基礎知識と旅客ハンドリング業務関連、航空貨物では航空機の貨物室と搭載に関する知識を学習します。	1通2通	275		○		
○			航空機概論	飛行機はなぜ空を飛べるかを解り易く学習し、航空機の理解度を深めることで将来の職業に役立てます。	1通2通	100		○		
○			無線工学	グランドスタッフとして必要となる資格「特殊無線技士(航空 第2級陸上)」の取得を目標に国家試験対策を基本に無線工学、法規、通信術を学びます。	1前	50		○		
○			旅行業務	国内観光地理等の基礎知識をはじめ JR 時刻表を使っての運賃計算等、航空業界でも必要な旅行知識を修得します。	1通2通	170		○		
○			航空ビジネスマナー	社会人としての基本的なマナーに加えて来客や電話対応、文書の書き方等を実践的に学習します	1通2通	60		○	△	
○			航空業務実習	知識として習得した航空業務の内容を、実際に空港で活躍しているスタッフの指導で模擬的に体験し理解度を深めます。	1後2前	60				○

授業科目等の概要 2/2

(工業専門専門課程エアポートビジネス学科) 平成28年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			発券業務	日本航空旅行総合システム「AXESS」を使い空席、予約データ、入力、訂正方法等を学びます。	1通2前	100		△		○
○			接遇マナー実習	企業人としてあるべき姿の大切なマナー、面接等をエアライン経験豊かな先生により模擬的に行います。	1後2通	90				○
○			OA実務	社会人に必要な文書作成。データ集計についてMicrosoft Officeを使い基本操作から演習等を含め総合的に学習します。	1通2通	250		△		○
合計					12 科目		1,950 単位時間 (111 単位)			